

# 美しく咲かす栽培のポイント

## 大苗の植え付け

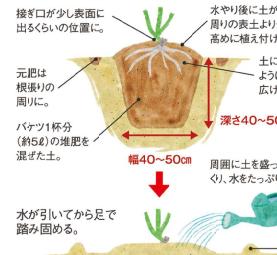
### 庭への大苗の植え付け

植える場所は、半日以上日が当たる場所を選びます。植え穴を掘って小石など異物はとり除き、堆肥などの有機物（バケツに1杯くらい）を振り上げた上に混ぜ込みます。

穴の中に有機物の混ざった土を半分くらい、中央が高くなるように盛り、その上に苗を植え付けています。その際、根を広げて少し押さえ、土と根が密着するように土をかぶせていきます。また苗の接ぎ口



#### ●植え付け前の大苗の処理



#### 活力剤・活性液を上手に活用する

地植え・鉢植えともに、植え付け後に「活力剤」「活性液」と呼ばれる園芸用品を活用することで、その後の生育がスムーズになります。



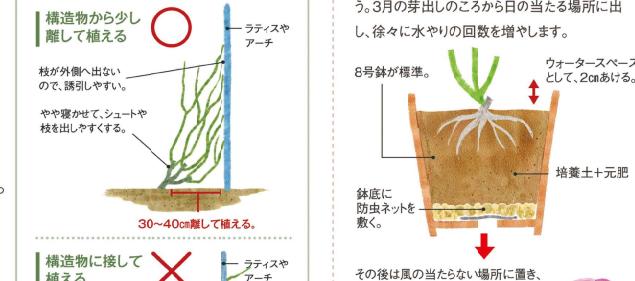
が少し表面に出るようにし、全体にやや高植えにします。最後に、根を土に密着させるため水をたっぷりと与え、水がすっかり引くのを待って足で株の周囲を踏みかためます。

最近は出荷元のナーセリーによって苗の状態がさまざまなので、元肥は植え穴の底に与えるより、株の周囲に与えるのが主流です。株の周りに深さ10～20cmくらいの溝を掘って、油かすや骨粉など、ゆっくりと効く有機質肥料を200～600g与えておきます。

寒い時期なので霜で株が浮き上がらないよう、パークチップや堆肥でマルチングしておきましょう。

### つるバラの植え付けは構造物から離す

庭につるバラを植え付ける場合は、構造物から必ず30～40cm離すことが大切。構造物のすぐ際に植えると、そこから伸びた枝が構造物の外側に出てしまうためです。少し株を寝かせて、シートグー出やすくなってしまう。



## 栽培暦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	休眠期
生育状況	休眠期	生育期		生育期および開花期									休眠期
水やり	地植え 鉢植え	乾いたらやり		ほぼ毎日乾いたらやり		乾いたら水やり							
施肥	地植え 鉢植え	12月～ 1月に 1回置肥	1回置肥 1回置肥 生育に応じ液肥	1回置肥	1回置肥 1回置肥 生育に応じ液肥	1回置肥 1回置肥 生育に応じ液肥	12月～ 1月に 1回置肥						
植え付け	秋大苗・鉢苗の植え付け		新苗の植え付け		秋大苗・鉢苗の植え付け								
植え替え・鉢増し	植え替え		鉢増し(根はあまり崩さない)					植え替え					
管理	冬剪定		花がら摘み		夏剪定		花がら摘み						
	誘引(つるバラの場合)												

## 鉢への大苗の植え付け

用意する鉢は、根が収まるくらいを目安に、高さと幅が同じくらいのものか、やや深めのものを選びます。標準は8号（直径約24cm）ですが、2～3年植え替えない場合は10号でもよいでしょう。

鉢底穴に防虫ネットを敷き、鉢底土を入れます。肥料は「元肥用」と表示された有機質肥料か、粒状の緩効性化成肥料を使用し、最初から培養土に混ぜておきます。使用的土は市販のバラ用「培養土」でよいでしょう。中央を高めに盛って土を入れ、苗の根を広げて植え付けます。両手の指を鉢の周囲に差し込んで、土と根が密着するように土をしっかりと詰め込みます。

最後に、鉢底から流れ出るくらい、水をたっぷりと与えます。その後は霜や乾いた風の当たらない場所で管理。水やりは10日に1回くらいでよく、休眠期なのでやりすぎないようにしましょう。3月の芽出しのころから日の当たる場所に出し、徐々に水やりの回数を増やします。



## 冬剪定

### 深めの剪定か、浅めの剪定かは種類と目的に応じて行う

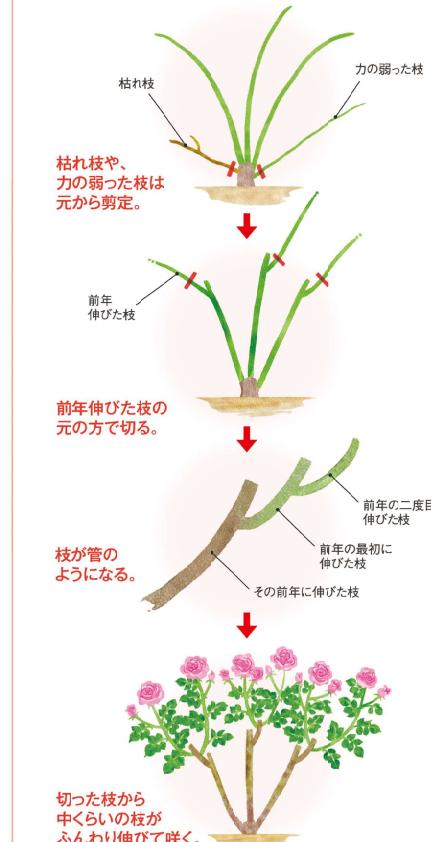
株姿を整えて健康に育て、春に大きな花やたくさんの花を咲かせるために、バラが休眠している冬の間に剪定を行います。タイミングは平地なら2月中旬までで、芽の吹き始める前までなら行ってもかまいません。しかし、最近は冬でも暖かくなってきているので、あまり早く剪定するとそこから芽が伸びて、まだ弱い芽が霜の害にあうこともあるので、地域ごとにあった時期に行いましょう。

ハイブリッドティヤフロリバンダなど木立性品種は深めの剪定、シュラブは中くらい、オールドローズなどはほとんど不要、というふうに、系統ごとに剪定方法の違いもありますが、「どのような姿に仕立てたいか」という目的によっても違います。

### 栽培のポイント冬剪定

#### ボーダーの中に植えたシュラブタイプで、木の形ができた株の冬剪定

深く切すぎると、春以降に株の姿が乱れるだけでなく、春になってしまっても枝が伸びず、草花の中に埋もれてしまうこともあります。株姿全体を見て、あまり枝を伸ばさないような剪定を行います。



#### 株丈を低く仕立てるためのバラ花壇木立性バラの冬剪定

次の条件の株であれば、可能です。

時期 休眠期(12月～翌年2月中旬)

種類 ハイブリッドティヤフロリバンダの枝が太めのタイプ。

株 植えて数年の若い株で、順調に生育している株。

